シミンのジリツを支援するＮＰＯ法人

シミンズシーズ

年次報告書 2015

代表理事・事務局長
変わりました！

シミンズシーズ 2015 年度年次報告書

発行元／問い合わせ先

ＮＰＯ法人 シミンズシーズ
〒675-0065 兵庫県加古川市 加古川町 篠原町 111 番地
Tel：079-422-0402　Fax：079-421-0407　Mail：info@npo-seeds.jp　Web：www.npo-seeds.jp

デザイン：柏木輝恵

もくじ

P.03　シーズについて
P.05　シーズのスタッフ
P.07　事業報告–Field.01 学校
P.08　事業報告–Field.02 公共施設
P.11　事業報告–Field.03 地域
P.14　事業報告–Field.04 公園
P.15　事業報告–Field.05 組織
P.16　事業報告–Field.06 ネットワーク
P.17　事業報告–法人運営
P.19　講師派遣一覧
P.20　決算報告
P.21　次年度計画及び予算

ほしい未来は自分でつくる

「このアイデアいいかも、こんなまちにできたらいいね、うんうん」

「で…誰がするの？」

少子高齢化や人口減少社会がトピックされる中で、深刻化する社会課題は点在し、いくつも複雑に絡み合っています。最近では、地域や学校、行政やＮＰＯ、企業など様々なフィールドで私たちの地域をいい方向へ転換するための方法が議論されています。

「じゃあ…、
　自分たちでつくってみない？」

こんな一言が、小さなアクションとなり、アクションが絡み合い、未来がつくられます。

誰かにお任せするなんてもったいない。
むしろ自分たちでつくってしまおう。

シミンズシーズは、そんな思いを大切に活動しています。

正解のない社会だから未来はひとりじゃ作れない。だから「みんな」で模索する。常に新しいものを取り入れ、挑戦することが求められていると思います。

たくさんの人が自ら考えて行動することで、社会は少しずつ創られていきます。
ほしい未来は自分でつくろう！しかも、共有できる「仲間」と一緒に、みんなで。

２０１６年度も、私たちシミンズシーズをどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ＮＰＯ法人シミンズシーズ

事務局長　阪口　努

シミンズシーズの目指すもの

Vision

誰もが「市民」という役割をたのしめる社会へ

Mission

シミンの自律と自立を支援する

Service

" たのしい " のプロデュース

人のいるあらゆる場所、場面で、「自分でつくる」ことへの働きかけを企画するのが私たちの仕事です

- 市民参加の企画・プロデュース
- コミュニティプランニング
- コミュニケーションデザイン
- チームブランディングプログラムの提供
- ファシリテーション

など

私たちは、誰もが感じる「たのしい」という気持ちを大切にしています。

シミンズシーズのビジョンにある「『市民』という役割」とは、一人ひとりの「社会への関わり方」と言い換えることができます。

様々な課題が溢れる社会において、市民の社会への関わり方＝「責任」が問われています。しかし、この状況を「責任」と捉え、動きだす人はそう多くいるとは言えません。

私たちは別のアプローチで社会への関わり方を作りだしていけるのではと考えています。それが、一人ひとりが抱く「たのしい」と感じる気持ちです。

人が「たのしい」と感じることはまさに主体的なものであり、その瞬間や場面、感じる対象などは様々です。ゆえに、そのエネルギーが社会に顕在化するには時間がかかり、強大な影響力は保証できるものでもありません。

しかし、そのエネルギーは、責任を押し付けることだけでは発揮しえない持続力や求心力を備えています。社会への関わり方としてこのような力が求められているのではないかと思うのです。

シミンズシーズは、地域や社会を「自分でつくる」ことで得られる「たのしい」を見出すために、様々なフィールドにおいて、一人ひとりの思いを尊重し活動しています。

社会の一員として参画することって「たのしい」。
自らの手で地域をつくることって「たのしい」。

これらの「たのしい」から人はあらゆる場面で「自分ごと」となり、ジリツした市民として主体的に社会に関わっていくと考えています。

社会には、たくさんの「たのしい」が眠っています。

「誰もが『市民』という役割を楽しめる社会」に向け、シミンズシーズは「たのしい」をプロデュースし続けます。

Field

1 学校

Field 1 school

学校でのキャリア教育プログラムの提供やインターンシップの受け入れを通じて、若者の自律と自立のサポートをしています。

2 公共施設

Field 2 publicspace

市民参加型の公共施設の運営を行っています。兵庫県加古川市にある「県立東播磨生活創造センター『かこむ』」の開設当初から運営に携わり、指定管理者としては丸７年が経過しました。

3 地域

Field 3 local

東播磨地域を中心に、地域住民が主体となった地域づくり、コミュニティづくりを行っています。地域と一口に言っても、自治会町内会といったローカルなものから、地域の魅力の発信など、幅広く活動しています。

4 公園

Field 4 park

市民にもっとも開かれた公共の場である公園を切り口に、利用する市民、近隣住民を中心としたコミュニティづくりを行っています。

5 組織

Field 5 organization

主体的、自律的にスタッフが運営に携わり、チームとして１つになれるよう、チームづくり、組織づくりのための研修プログラムを提供しています。

6 ネットワーク

Field 6 network

兵庫の NPO 業界がよりたのしく、おもしろくなるよう、団体ごとの個別の運営支援のほか、業界のネットワーク事務局も担っています。

2015年度も、皆さまからたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。

「市民という役割をたのしめる社会」を目指して、2015年度も幅広く活動してきました。2015年度は、新たに加古川の中心市街地活性化を目指すプロジェクトがスタート。一人ひとりの市民が「まち」を自分ごとに考え、動き出すことにプロデュースする私たち自身も“たのしさ”を感じた1年でした。

また、2015年度は理事体制を一新。代表理事2名体制に、そして新たに3名の職員が理事になりました。次のステージへ一歩踏み出す1年になったと思います。

2016年度も、もっと“たのしく”、もっと“自分ごと”になるよう、活動していきます。ご支援くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表理事　田中　茂・　柏木登起

主に公共施設担当

＼地域も担当／

マネージャー・理事
施設マネジメント担当

木上裕貴（きがみん）

金沢からきました

プロジェクトリーダー
施設マネジメント担当

中塚　武（たけちゃん）

ネットワークも担当

プロジェクトリーダー
団体支援担当

阪田乃利子（のりちゃん）

学校も担当

広報・フレンドレイジング担当

渡邊桂子（にこちゃん）

福岡県東峰村出身ばい

シニア支援担当

岩橋亮汰（いわっち）

広報・フレンドレイジング担当

別所初弥（はっちゃん）

コーディネーター

東　美輪（みわちゃん）

＼学校も担当／

コーディネーター

太田めぐみ（めぐちゃん）

団体コーディネート担当

コーディネーター

森田久子（チャコちゃん）

ボランティア担当

コーディネーター

金谷ひふ美（かなっP）

NewFace

コーディネーター

宮本絵里子（えりちゃん）

主に地域支援担当

＼ネットワークも担当／

代表理事
コミュニティプランナー

柏木登起（ときちゃん）

明石担当

事務局長・理事
コミュニティプランナー

阪口　努（つとむん）

加古川担当

＼公園も担当／

プロジェクトマネージャー
コミュニティプランナー

西尾　泉（にっしー）

加古川・高砂担当

主に組織支援担当

マネージャー・理事
NPOコンサルタント

幾田一輝（いくP）

ネットワークも担当

＼学校も担当／

事務局次長
コミュニケーションデザイナー

柏木輝恵（きえちゃん）

法人本部

みんなの相談役

総務

吉田加奈子（よっしー）

代表理事

田中　茂（しげるちゃん）

学校

ジリツのスタートライン、学校。一人ひとりの個性や力を大切にする視点で、生徒が主体的に楽しめる体験型の授業を中心に、学校に応じた授業プログラムを企画しました。

学校へのキャリア教育プログラムの提供

学校と地域をつなぐ

学校という数百人が集まる場では、その中だけの社会で完結してしまいがちですが、これからの子どもたちの可能性を広げるには、学校という枠組を超えた多様な価値観と可能性に触れることが大切なのではないかと思います。そこで重要な役割を果たすのが、「地域」の存在です。私たちは「地域」と「学校」をつなぐことを意識して取り組んできました。

新たに始まった、県立農業高校定時制課程の半年にわたる「キャリア教育」プログラムは、生徒が地域に出て様々な大人に仕事の話をインタビューするというもの。この取り組みでは、定時制高校に、大学生ボランティアや、地域企業とのつながりが生まれました。学校と学校外の人との関わりは生徒にとって視野を広げる機会に、先生にとっては授業の選択肢を広げる機会に、私たちを含む地域の人々にとっては、自分の仕事や活動の可能性を拓く機会となりました。

文・柏木輝恵（キエちゃん）

>>>DATA

兵庫県立農業高等学校 定時制課程	2年	私のしごと図鑑	10回
	4年	シミンのジリツ講座	5回
兵庫県立明石清水高等学校 人と環境類型	2年	くらしと環境	2回
	3年	コミュニティ創造	4回

インターンシップの受け入れは、今年度21名！

インターン受け入れ実績

明石工業高等専門学校
県立加古川南高等学校
など

担当のつぶやき

メインスタッフ…めぐちゃん

「教える」ことで「教えられる」ことが星の数のようにありました。
貴重な体験に感謝です！

メインスタッフ…きえちゃん

新しい授業づくりに試行錯誤しながらも、生徒や学校の変化を実感でき、私自身多くの学びを得る濃い時間でした。

公共施設

市民がいきいきと活動する空間、それが公共施設。多様な市民が集い、それぞれが主体的に互いの個性を活かし、また支え合えるような空間づくりを目指しています。

シニア世代“地域デビュー”支援プラザ運営

地域に出る「きっかけづくり」

仕事や子育てから現役を退いたシニア世代が地域や社会の活動に関わることは、認知症や孤独死を防ぎ、健康で充実した生活を送るためにも重要です。「シニア世代『地域デビュー』支援プラザ」は、そんな方々に向けて「地域の中でのきっかけづくり」を行う事業です。

2015年度は、前年度に引き続き東播磨地域各地に出向いて、地域で活動するサークルやボランティア団体を紹介する交流会を年間10回実施。名称を「つながり広場」から「シニアいきいきまちサロン」に変更し、より地域に根差したものにできるよう活動してきました。

できる限り地域在住の方に参加いただくために、自治会や老人クラブ、社会福祉協議会とも広報面で連携したことで、交流会が定着しつつある地域も生まれています。

自分たちの住む地域で活躍し、生きがいをもって今後の人生を楽しんでいける社会が、現代の社会問題を解決していく上でも重要になってきています。そのために、シニア世代がより『地域デビュー』する後押しをこれからも継続していきます。

文・岩橋亮汰（いわっち）

たのしくおしゃべり

シニア交流サロン

「かこむ」で月2回開催するシニアの集いの場。60回を迎え、参加者も増加中！

>>>DATA

シニア交流サロン	24回	延408名
シニアいきいき まちサロン	10回	延175名

担当のつぶやき

メインスタッフ…いわっち

人生の先輩から、たくさんのことを勉強させていただいています！

サポートスタッフ…チャコちゃん

「シニアいきいきまちサロン」に行く度に私の方が元気をもらってます。
人生の目標をいただきました！

兵庫県立東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営事業

つながる施設から、地域のプラットフォームへ

指定管理運営3期目に入った2015年度、東播磨生活創造センター「かこむ」では、公共施設の次の役割を目指して活動を始めました。

これまでの「かこむ」では、「つながる施設」をコンセプトに登録団体同士の勉強会、趣味を活かしたボランティア活動、誰でも参加できる大交流会などを実施。様々な場面で一人ひとりが新しい出会いに「つながる」機会づくりを大切に運営してきました。

今期からは、コンセプトを「東はりまコミュニティ・プラットフォーム」へリニューアル。地域課題が多様化する中で、様々な主体が協働することが求められる現代において、この施設で生まれる「つながり」から、課題解決に向けた活動が生まれていく、そんな拠点への進化を目指しています。

これからは、セクターを越えて関わる機会づくりが重要です。「かこむ」では学童保育を考えるサロン、地元企業が中心となって行う地域活性化イベントなど、地域の住民が主体的にそのような機会を作り始めています。2015年度はそんな活動をサポートするため新たな利用層へのアプローチを中心に実施してきました。

地域をより良く、より楽しい場所に。「プラットフォーム」からそんな活動が生み出される拠点を目指していきます。

文・中塚武（たけちゃん）

>>>DATA

開館日数	350日
年間来館者数	238,756名
有料施設利用率	62.0%
かこむ倶楽部登録団体	418団体
内新規登録団体	74団体
コーディネート	90件
ボランティア総数	59名

かこむ最大のイベント！
かこむ創造フェスタ

参加団体　60団体
来場者数　4819名

WEBサイトは見やすく
広報誌はカラーに
リニューアル！

今年も開催！
ごちゃまぜ
交流会

参加者89名

新たにこんなことしました！

ママボランティア

学生やシニア世代が中心だったボランティアに、子育てからの社会復帰を目指す主婦層のボランティア受け入れを始めました。ボランティア同士が交流する「ママカフェ」を開催し、互いに将来の夢などを語り合う機会も実施。目標に向けてステップアップできるよう、ママたちが新しいコミュニティで活動しています。

総活動時間　80時間
活動人数　4名

みんなで大掃除＆お餅つき

より「かこむ」に愛着を持ってもらえる機会になればと、初めて大掃除を参加型イベントにしてお餅つきとともに実施しました。施設を利用する学生や登録団体、ボランティア、はじめて訪れた方も参加し、参加者同士もスタッフとも距離の縮まる楽しいひとときになりました。

実施日　12月27日（月）
参加人数　38名

リニューアル交流会

広報誌やホームページの刷新に合わせて、登録団体にとってより活用しやすい施設に向けての意見交換及び交流の機会を設けました。「他団体ともっとコラボするためには？」などのテーマによる意見交換から実際にイベント実施の協力につながったケースも。共に今後の「かこむ」を考える交流会となりました。

実施日　12月19日（土）
参加人数　34名

かこむって？

2008年に誕生した、豊かな生活を創造するための主体的な活動をバックアップする拠点施設です。

兵庫県加古川市加古川町寺家町天神木97-1

担当のつぶやき

メインスタッフ…みわちゃん
「かこむ」に居ると毎日が喜びやおどろきの連続です。是非、皆様も「かこむ」へお越しいただき一緒に楽しい日々を過ごしましょう！

メインスタッフ…にこちゃん
たくさんの出会いに感謝。出会いを通して、毎日新しい自分と出会い直しています！

メインスタッフ…たけちゃん
日々移り変わる「かこむ」に、日々興奮。

担当のつぶやき

メインスタッフ…えりちゃん
老若男女、出会いの数だけ、わくわく・楽しみがあります。そんな素敵な場です！

メインスタッフ…はっちゃん
新しい発見と出会いの毎日でたくさんの思いを吸収！
みなさんとの出会いに感謝♪

メインスタッフ…かなっP
かこむにきてはや5年！たくさんの方と出会い、助けられました。これからも「かこむ」に来てよかったと言ってもらえればいいな～♪

自分の身近な地域が楽しく関われる場所になれば、暮らしと地域が互いにより良いものになっていきます。様々な角度から楽しく地域に関わるきっかけづくりをしています。

かこがわ活性化プロジェクト

加古川をもっとたのしく、おもしろく！

社会情勢や行政施策が時代とともに変化する中で、「地域の活性化」に対する考え方やアプローチ方法も多様化してきています。

2015年度にスタートした「かこがわ活性化プロジェクト」では、加古川駅前の賑わいづくりを目的に、加古川に暮らす人自身が主体となり、「まちをもっと楽しく、おもしろく」するためのきっかけづくりを行いました。

その取り組みの一つが、お酒を片手にこれからのまちについて語り合う「かこがわ飲み会議」です。これまでまちづくりに参加することの少なかった20～40代の若手を中心として、まちに対する想いや個々の活動についてフラットに話せる場を月に一度開催。「こんなことをしてみたい」と話し合いを重ねる中で、共感する仲間を見つけて実際に活動を始める人たちが生まれてきました。

「まずは自分たちのできることから始めてみよう」というスタンスを軸に、各参加者が主体となった自分発信の取り組み（マイプロジェクト）を始めていることが、この取り組みの大きな特徴と言えます。

まだまだスタートしたばかりの事業ですが、今後もいくつものマイプロジェクトを生み出していくことで、加古川に暮らす人々の盛り上がりをつくり、まちの「なか」から賑わいを生み出していくことを目指します。

文・西尾　泉（にっしー）

気軽にまちに参加するきっかけづくり

かこがわ飲み会議

加古川の商店や企業、行政やNPO、地域住民など、若手を中心にまちづくりに関心のある多様な方が集まる機会を設けました。8回の開催を通じて6つのテーマを持ったプロジェクトが誕生しています。

飲み会議からマイプロジェクトが誕生！

プロジェクト例

- みんなのーえん（休耕田活性化）プロジェクト
- 東加古川プロジェクト
- 大人の社会見学プロジェクト
- 加古川歴史発見プロジェクト　　など

飲み会議では、加古川を面白くするアイデアを発表！プロジェクトとして動き出しました。

まちの小さなハッピーニュースを届ける

加古川経済新聞

地元地域メディア「BAN-BAN ネットワークス（株）」と協働し、2015 年 10 月よりスタート。「グルメ」「アート」「まちづくり」など、様々なジャンルのまちネタをピックアップし、WEB ニュースとして配信しています。取材を通して、加古川のまちに対する想いを持って活動する人たちとたくさん知り合うきっかけになりました。

また、100 人取材達成記念として開催した「かこがわ★パーティ！」では、これまで取材した方が一堂に集うことで、あらたな出会いやネットワークづくりのきっかけをつくることができました。

Kako-Style 事務局

The 加古川本発売！

地元のことをみんなで調べて楽しく伝える。任意団体「すっきゃ加古川」が発行する「かこスタイル2」はそんな思いから作られました。シーズは、「みんなでつくるかこスタイル」にするために約100人の取材ボランティアのマネジメントから、最後は発刊式までプロデュース。取材ボランティアにとっても、自分たちが作った本となりました。

文・木上裕貴（きがみん）

>>>DATA

かこがわ飲み会議	8回
参加人数	143名
かこがわ★パーティ！	60名
加古川経済新聞	140件
ヒアリングの実施	105名
先進事例収集と情報提供	63件

担当のつぶやき

メインスタッフ…きがみん

カコスタボランティアのみなさんが「いっぱい配んねん」と大量に購入される姿が印象的でした。作ってよかったー！

担当のつぶやき

サポートスタッフ…いわっち

加古川の「熱いひと」に出会えること、発信できることが何より嬉しいです！

メインスタッフ…にっしー

「まちで遊ぶ」ことがまちを創ることの一歩だと感じた1年。ワクワクを原動力にした素敵なコミュニティがいくつも生まれました！

メインスタッフ…つとむん

地域でお酒を飲む機会が増えたので、かなり太ってきました。

公園

市民みんなの「公園」。自分たちが使う場所だからこそ自分たちの手でより良くできれば、もっと愛着のある場所にしていけます。

高砂海浜公園パークコミュニティマネジメント

市民の手でつくる公園へ

自分たちの公園を自分たちの手で

高砂海浜公園は設立から30年以上が経ち、設備の老朽化やアオサの大量発生などの課題から、利用者が減っていました。再び人が集い、賑わいの場となるために、住民の想いを形にする取り組みを実施してきました。

3か年事業の最終年となる2015年度は、賑わいづくりに向けた具体的な取り組みを実施。前年度の住民ワークショップで、向島周辺一帯の方向性を冊子に取りまとめ、「目指すべき公園の姿、方向性」が可視化されたことから、地域住民と公園管理者がお互いにできることを意識し、活動を始めることができました。

例えば、公園に隣接する「高砂市青年の家」では、親子で向島周辺一帯の自然に触れあう機会を提供しようと、新たに連続講座をスタート。講座を通し、これまで利用することの少なかった層が公園に訪れるきっかけとなりました。

他にも、「市民の手でつくる公園」をテーマに、公園内に設置されているベンチをキレイにする活動としてペンキ塗りを実施。各管理者との調整を重ねたことで、公園の管理や運営に地域住民が参画する機会を生み出しました。

地域住民の力を公園運営に発揮できる機会をつくることで、公園への愛着がわき、また積み重ねていくことで賑わいにもつながっていきます。

自分たちの地域を自分たちの手で良くする意識を醸成することを通じて、2016年度も新たな住民発の取り組みを生み出していきます。

文・西尾泉（にっしー）

>>>DATA

施設管理者、行政担当者との意見交換の場の開催	2回
公園のあり方を考えるワークショップの実施	3回
「市民の手でつくる公園」をテーマにしたイベントの開催	3回

担当のつぶやき

メインスタッフ…きがみん

公園の活かし方ってほんと色々。「どれだけ遊べる公園か」というのも大事なんだなーと改めて感じた1年です。これからのむこうじまの可能性にも期待！

メインスタッフ…にっしー

海の生きもの探し、松ぼっくり拾い、ベンチを綺麗にペンキ塗り・・・「みんなの公園」だからできることをもっと見つけていきたい！

市民活動団体と行政、地域団体の大交流会「コラボミーツ」開催。

明石コミュニティ創造協会運営支援

住民が主体になれるまちづくり支援

地域課題が多様化、複雑化する中、さまざまな課題を一人ひとりの住民の力で解決していくことが求められています。

明石コミュニティ創造協会は、そんな住民主体の地域づくりを進めるため、2012年度に設立されました。設立時から私たちは、①小学校区単位で構成される地域組織「校区まちづくり組織」の支援、②NPOや市民活動の支援、③協働のまちづくりの普及啓発の3つに関わっています。

2015年度は「校区まちづくり組織」の組織強化や地域事務局構築支援を中心に、主に10小学校区に関わりました。夏祭り等の行事しか実施していなかった「校区まちづくり組織」の中に、子どもの学習支援や福祉サロンといった住民主体の活動が生まれ始めたことを嬉しく感じた1年でした。

さらに、環境や子育てといったテーマを軸に活動するNPOや市民活動団体と地域をベースに活動する「校区まちづくり組織」、行政の3者をつなげるために大交流会を開催。新しいコラボレーションがたくさん生まれる予感がします。

2016年度も、住民主体の活動がたくさん生まれるよう、支援していきます。

文・柏木登起（ときちゃん）

NPOと行政の協働

東播磨地域でNPOと行政の協働が進むことを目指して、ひょうごボランタリープラザ、明石コミュニティ創造協会と共催で「NPOと行政の協働会議in東播磨～これからの協働を考える円卓会議～」を開催。交流が生まれ、協働のあり方を考える場となりました。

担当のつぶやき

メインスタッフ…つとむん

ひとつひとつのコミュニケーションが少しずつ変化するだけで、地域が変化することを感じます。

メインスタッフ…ときちゃん

明石コミュニティ創造協会での仕事割合が増え、コミュニティにどっぷり浸かった1年でした（笑）

組織

チームカの高い組織は、社会により影響を与えることができます。理念が浸透し、スタッフが自律的に活躍できるチームづくりをサポートします。

ネットワーク

小さな活動も他の活動とつながれば、より大きく広がっていけます。ネットワーク事務局を担うことで、業界全体の発展を目指しています。

右／恒例の賀詞交歓会は最多 135 名が参加
下／チラシの共同発送、ソーシャルカフェの様子

チームブランディングプログラムの提供

チームビルディング × ブランディング

ＩＴ化やグローバル化、多様化が進み、働き方が大きく変化している現在。フリーランスで働く人が今後増加していくと予想されています。今、「組織」に所属する意味や「組織」の存在価値を、多かれ少かれ誰もが意識しているのではないでしょうか。

「組織」を改めて考えると、「個」で動く以上の成果があげられる「チーム」となっていることが、「組織」であることの唯一の意味と価値なのではないかと思えてきます。「成果」を出せるチームに共通していることは、目的意識が一致している、つまり、理念をメンバー全員が理解し、理念を達成するための行動をメンバー全員が起せる状態にあることがあげられます。

一方で今年度実施した、ＮＰＯのヒアリング調査の中でも、人材育成や世代交代が課題となっていることが明らかになりました。

そこで、従来行ってきたチーム力を発揮するためのコミュニケーションを軸とした「チームビルディングプログラム」に加え、組織としての理念やビジョンを明らかにする「ブランディングプログラム」を組み合わせた研修型の支援を希望する団体に実施しました。代表者とスタッフが、改めて組織のビジョンを話し合う場を持つことで、目指すべき理念への理解が進み、内部に浸透させるきっかけをつくることができました。

文・柏木輝恵（きえちゃん）

>>>DATA

認定ＮＰＯ法人宝塚ＮＰＯセンター	4 回
ＮＰＯ法人姫路コンベンションサポート	5 回
ＮＰＯ法人アエソン	2 回
（株）Happy	3 回
ＮＰＯのためのブランディング勉強会	2 回

担当のつぶやき

メインスタッフ…いくＰ

組織の理念を見直し、新たな変化を生み出していくプロセスにいつもワクワクしています！

メインスタッフ…キエ

ミッションが明確になると、スタッフも活動に自信を持てるようになる、そんなことを確信した１年でした。

ひょうご市民活動団体協議会事務局

会員制度をリニューアル

兵庫県内で活動する２１００以上のＮＰＯ法人をはじめ、多様な市民活動団体が情報交換や交流などを通じて互いに協力し合うことを目指すネットワーク「ひょうご市民活動協議会」、通称ＨＹＯＧＯＮの事務局を担当しています。

２０１５年度は会員制度のリニューアル、入会案内冊子の刷新に取り組み、多数の団体が新しい仲間になりました。今後は現在できているつながりを活かしつつ、ソーシャルな分野に関心のある企業や行政など、さらに広いセクターを巻き込みながら、より大きく社会に影響が与えられるコミュニティへと成長していきたいと考えています。

また、ＮＰＯワーカー向けの勉強会やトークイベントなどを開催しています。２０１５年度はチームワークや人材育成をテーマに企画。具体的な取り組みをゲストスピーカーから聞くソーシャルカフェなどを開催し、参加者がこれからのソーシャルセクターの人材育成について考えるきっかけになりました。

文・阪田乃利子（のりちゃん）

東播磨 NPO ネットワーク

東播磨地域では約 180 の NPO 法人が活動しています。その交流と情報交換の場として月１回「NPO カフェ」を開催しています。

>>>DATA

ひょうごん NPO 塾 --- ソーシャルな人材の育て方	25 名
HYOGON ソーシャルカフェ --- いい組織の作り方	18 名
賀詞交換会	135 名
サイボウズ NPO プログラム 記念勉強会	10 名

担当のつぶやき

メインスタッフ…ときちゃん

いつも県内のいろんな NPO から刺激をうけています。うちももっと頑張らなきゃ！！と。

メインスタッフ…のり

NPO の現場で長年ご活躍されてきた先輩方にたくさんお会いでき、刺激たっぷりの１年でした。

運営

スタッフ一人ひとりのジリツに向けて。個人の成長と法人の成長を目指しています。

法人運営

運営体制を刷新

今年度、法人の運営体制を大きく変えました。まず、理事会ですが、9名中5名を改選し、新任理事が誕生しました。スタッフから新たに3名登用したことと、当法人を外部から客観的かつ新しい感覚で意見をいただける方に加わっていただきました。また、理事長1名体制から2名の代表理事制にし、次代を見据えた体制に生まれ変わりました。

事業の運営についても、中堅スタッフの人材育成に主眼を置き、従来の比較的フラットな体制を改め、あえて部署制を導入。各部長への権限移譲を積極的に進めながら、責任を明確にし、マネジメント力を養う環境を整えました。

ここ2、3年、法人の理念追及と個人の自己実現の関係性についての議論を深めています。また、それに伴い、働き方と雇用契約、給与や評価システムのあり方などの研究やスタッフのジリツに向けたプログラムの必要性について検討を始めています。

今回の体制変更の大きな狙いは、次代に向けた若返りとジリツに向けたマネジメント力の養成にあります。いわゆるソーシャルと言われる世界とビジネスの世界、この両立を図る難題に挑みつつ、働き方でも新機軸をつくり出すシミンズシーズを目指します。

文・田中 茂（しげるちゃん）

全スタッフ集合！会議＆研修 DAY

シーズ家家族会議＆第３ SUNDAY 大集合♪

毎月第３日曜日に全スタッフが集まり、会議や研修、ワークショッププログラムを実践する場にもなっています。昼食には「ごはんのお供持ち寄り会」でスタッフの親睦を深めました。

毎月１回
計 11 回

担当のつぶやき

メインスタッフ…よっしー

「これからのたのしい」が目の前で次々とうまれます。事務仕事だからって、退屈する暇なんてありません！

代表理事…しげるちゃん

14 期が終わって、みんなの議論も明らかに次の階段を見据えてるよな～、そろそろリブランディングかな。

シーズ塾（たのカレ）開催事業

これからのたのしいを考えるカレッジ vol.0
日　　時：5 月 24 日　　参加人数：21 名

これからのたのしいを考えるカレッジ vol.1- これからのチーム -
日　　時：9 月 26 日　　参加人数：18 名

総会

第１３期通常総会の開催

出席者数：正会員総数 37 中 37 名（うち委任状出席者 29 名）
日　　時：6 月 21 日（日）13 時 30 分～15 時 15 分
場　　所：鶴林寺
審議事項：2014 年度（第 13 期）事業報告の件
　　2014 年度（第 13 期）決算報告の件
　　役員選出の件
報告事項：2015 年度（第 14 期）事業計画について
　　2015 年度（第 14 期）事業予算について

理事会

第１回	5 月 22 日	総会議案／事業計画・予算
第２回	6 月 21 日	代表理事・副代表理事選出
第３回	7 月 30 日	2015 年度事業の全体像
第４回	8 月 31 日	マーケティング戦略
第５回	9 月 30 日	上半期の振り返りと下半期の方向性
第６回	11 月 9 日	下半期の体制／これからの働き方・雇用のあり方
第７回	12月14日	これからの働き方・雇用のあり方
第８回	1 月 30 日	2016 年度計画・予算／これからの方向性
第９回	3 月 5 日	2015 年度決算見込／賞与支給／ 2016 年度計画・予算

理事・役員

代表理事	田中　茂	柏木登起	副代表理事	神田信弘	衣笠仁浩
理事	幾田一輝 嶋谷拓雄	木上裕貴 畑本康介	佐伯亮太	阪口　努	坂本龍哉
監事	藤岡秀英	高橋　逸			
顧問	落合英樹 船本博一	高田良彦 堀田照夫	田代恭也	中村義弘	根本敏行

決算報告

活動計算書（簡易版）

2015年4月1日～2016年3月31日

（円）

科　目	2015年度実績	2014年度実績	増　減
Ⅰ 経常収益の部			
1　受取会費	311,000	254,000	57,000
2　受取寄付金	400,765	333,350	67,415
3　受取助成金等	1,191,900	0	1,191,900
4　事業収益			
(1)　個人のジリツ支援	69,213	9,386,059	-9,316,846
(2)　市民のジリツ支援	40,217,019	42,544,707	-2,327,688
(3)　地域のジリツ支援	15,730,814	12,434,760	3,296,054
(4)　団体のジリツ支援	627,400	1,322,480	-695,080
(5)　全てのジリツ支援	1,015,357	512,180	503,177
事業収益計	57,659,803	66,200,186	-8,540,383
5　その他収益	22,458	5,392	17,066
経常収益計	59,585,926	66,792,928	-7,207,002
Ⅱ 経常費用の部			
1　事業費			
人件費計	38,742,765	49,288,943	-10,546,178
その他経費計	12,198,352	12,132,412	65,940
事業費計	61,421,355	61,421,355	-10,480,238
2　管理費			
人件費計	3,444,021	2,908,272	535,749
その他経費計	3,338,723	2,363,731	974,992
管理費計	6,782,744	5,272,003	1,510,741
経常費用計	57,723,861	66,693,358	-8,969,497
当期経常増減額	1,862,065	99,570	1,762,495
Ⅲ 正味財産増減の部			
税引前当期正味財産増減額	1,862,065	99,570	1,762,495
法人税、住民税及び事業税	210,100	80,707	129,393
当期正味財産増減額	1,651,965	18,863	1,633,102
前期繰越正味財産額	23,084,547	23,065,684	18,863
次期繰越正味財産額	24,736,512	23,084,547	1,651,965

貸借対照表（簡易版）

2016年3月31日現在

（円）

科　目	2015年度実績	科　目	2015年度実績
Ⅰ 資産の部		Ⅱ 負債の部	
1　流動資産		1　流動負債	
小口現金	1,081,453	未払金	5,664,750
普通預金	8,398,597	未払法人税等	210,100
定期預金	14,007,016	前受金	2,270,670
未収金	8,573,009	預り金	360,892
前払金	397,541	仮受金	500
仮払金	0	流動負債合計	8,506,912
流動資産合計	32,457,616	2　固定負債	
2　固定資産		固定負債合計	0
車両運搬具	1	負債合計	8,506,912
什器備品	776,607	Ⅲ 正味財産の部	
リサイクル預託金	9,200	正味財産期首残高	23,084,547
固定資産合計	785,808	当期正味財産増減額	1,651,965
		正味財産合計	24,736,512
資産合計	33,243,424	負債及び正味財産合計	33,243,424

2015年度講師・委員等派遣一覧

田中　茂

明石市市民協働推進室	審査員	市民活動サポート事業

柏木登起

兵庫大学	ファシリテーター	『新入生歓迎ワークショップ』
兵庫大学	ファシリテーター	教員カフェ『兵庫大学の教育の“質”をどう高めていくかを考えよう』『学びを「自分ごと」にするには？』
小野地区青少年健全育成会	ファシリテーター	『みんなで考えよう！すこやかな子どもを育む地域づくり』
播磨町社会福祉協議会	ファシリテーター	権利擁護支援員養成講座
尼崎市	ファシリテーター	尼崎市市政100周年記念事業『みんなで議論！』
ＮＰＯ法人アエソン	ファシリテーター	『発達障害のある子どもの支援ミーティング vol.2』
兵庫県県民生活課	講　師	文化会館等のあり方検討に係る研修会及び打合せ会議『東播磨生活創造センターの取り組み』
丹波市	講　師	たんば職員チャレンジ・プログラム『市民活動団体と行政の協働～課題解決に向けた新しいアプローチ～』
兵庫県立三木東高等学校	講　師	平成27年度キャリア教育講演会『自分のミライを自分で決めるために』
兵庫大学	講　師	エクステンション・カレッジ講座『ワークショップの具体的な進め方とファシリテーターの役割』
(公財)兵庫県生きがい創造協会	講　師	『実践のための知識・理論および実践の事例研究』
明石市ボランティアサポーター協議会	講　師	『つながりを活かして活動をパワーアップさせよう！』
兵庫県高齢者学習研究協議会 中・西播磨ブロック	講　師	『高齢者学習におけるファシリテーターの役割』
兵庫県協働推進室	委　員	県民交流広場全県連絡協議会
神戸市計画調整課	委　員	神戸市市民福祉調査委員会特別委員神戸市市民福祉調査委員会小委員会ワーキンググループ
神戸市計画調整課	委　員	神戸市市民福祉を語る会
兵庫県地域振興課	審査員	平成27年度地域再生大作戦補助事業審査
ランドブレイン株式会社	ゲスト	『創業支援セミナー』
宝塚市	ゲスト	宝塚市住民自治組織のあり方に関する調査専門員の会議

阪口　努

ＮＰＯ法人生涯学習サポート兵庫	ファシリテーター	兵庫大学管理職研修
兵庫県いなみ野学園	講　師	『地域活動にどう取り組むか？』
社会福祉法人清華苑	講　師	『今、地域で何が求められているか～地域の本当のニーズを知ろう～』
ふるさとひょうご創生塾	講　師	『孤立しない地域づくり「つながりづくり、地域づくり」』

柏木輝恵

兵庫県立三木東高等学校	講　師	『伝わるプレゼンテーション　考え方とコツ』
ＮＰＯ法人アエソン地域支援センターあいあむ	講　師	『気持ちがラクになる！上手な会議の開き方、進め方』
明石工業高等専門学校	講　師	『これからが楽しくなるコミュニケーション講座』
兵庫県立三木東高等学校	審査員	課題研究発表会
兵庫県都市政策課	委　員	まちづくり審議会
兵庫県都市政策課	委　員	福祉のまちづくり検討小委員会

幾田一輝

ＮＰＯ法人北播磨市民活動支援センター	講　師	『ＮＰＯスタート講座―ＮＰＯ概論―』
兵庫県いなみ野学園	講　師	『ＮＰＯの立ち上げについて』

木上裕貴

神戸国際大学	ゲスト	『市民社会論』

予算計画

活動予算書（簡易版）
2016年4月1日～2017年3月31日

（円）

	科　目	2016年度予算	2015年度決算	2015年度予算
Ⅰ 経常収益の部	受取会費	364,000	311,000	300,000
	受取寄付金	300,000	400,765	300,000
	受取助成金等	1,000,000	1,191,900	1,000,000
	事業収益			
	(1)　個人のジリツ支援			
	学校へのキャリア教育プログラムの提供事業収益	500,000	69,213	500,000
	(2)　市民のジリツ支援			
	東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営事業収益	35,330,174	35,245,227	36,212,000
	シニア世代"地域デビュー"支援プラザ運営事業収益	970,000	718,000	718,000
	東播磨地域情報～kokora～発信事業収益	0	1,781,000	1,772,000
	企業等へのコーディネート事業収益	900,000	1,263,600	1,200,000
	Kako-Style2事務局事業収益	0	1,209,192	1,000,000
	(3)　地域のジリツ支援			
	明石コミュニティ創造協会運営支援事業収益	9,900,000	9,900,000	9,900,000
	かこがわ活性化プロジェクト事業収益	3,000,000	4,397,654	4,200,000
	高砂海浜公園パークコミュニティマネジメント事業収益	990,000	1,433,160	1,409,000
	(4)　団体のジリツ支援			
	チームブランディングプログラム提供事業収益	850,000	387400	500,000
	ひょうご市民活動協議会事務局事業収益	360,000	240,000	240,000
	市民活動センター神戸認定相談支援事業収益	1,300,000	0	0
	(5)　全てのジリツ支援			
	講師・委員等派遣事業収益	500,000	993,857	500,000
	シーズ塾（たのカレ）開催事業収益	0	21,500	0
	事業収益計	54,600,174	57,659,803	58,151,000
	その他収益計	20,000	22,458	20,000
	経常収益計	56,284,174	59,585,926	59,771,000
Ⅱ 経常費用の部	事業費			
	(1)　人件費	41,321,388	38,742,765	40,762,453
	(2)　その他経費	9,877,374	12,198,352	11,523,300
	事業費計	51,198,762	50,941,117	52,285,753
	管理費			
	(1)　人件費計	2,325,949	3,444,021	3,056,247
	(2)　その他経費計	2,550,000	3,338,723	1,862,000
	管理費計	4,875,949	6,782,744	4,918,247
	経常費用計	56,074,711	57,723,861	57,204,000
	当期経常増減額	209,463	1,862,065	2,567,000
	法人税、住民税及び事業税	82,000	210,100	0
	前期繰越正味財産額	24,736,512	23,084,547	23,084,547
	次期繰越正味財産額	24,863,975	24,736,512	25,651,547

2016年度事業計画

1 学校
Field 1　school

学校と連携し、若者のキャリアデザインを行う事業を行います。

学校へのキャリア教育プログラムの提供
インターンシップの受け入れ

2 公共施設
Field 2　publicspace

「かこむ」は指定管理第３期目の２年目をむかえ、「東はりまコミュニティプラットフォーム」を実現させる１年と考えます。また、高齢化社会を迎える中で、シニアの地域デビュー支援を拡充します。

東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営
シニア世代“地域デビュー”支援プラザの運営
企業等へのコーディネート

3 地域
Field 3　local

昨年度からスタートしたかこがわ活性化プロジェクトでは、任意団体「チームかけはし」を母体としたまちづくり機能構築を具現化します。明石コミュニティ創造協会は、次のステージとして地縁団体と市民活動団体の支援拠点づくりを明石市と協働して構築し、そのシステムづくりに力を入れます。

かこがわ活性化プロジェクト
明石コミュニティ創造協会運営支援

4 公園
Field 4　park

４年目となる高砂海浜公園パークコミュニティマネジメント事業は、住民の活動を活発化させます。

高砂海浜公園パークコミュニティマネジメント

5 組織
Field 5　organization

ＮＰＯ、企業などあらゆる組織の基盤づくりをチームビルディングからチームブランディングへと名称変更し、法人の自主事業として組織強化の支援を拡充します。

チームブランディングプログラムの提供
中間支援活動助成金の申請・実施
市民活動センター神戸認定相談支援

6 ネットワーク
Field 6　network

さまざまなネットワーク事務局の役割を通じて、兵庫のボランタリーセクターの活性化を目指します。

東はりま NPO ネットワーク事務局
ひょうご市民活動協議会事務局